



仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会設立後、第1弾の「むすび丸通信」。10月からの「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」に向けた新たな活動が始まっています。今回の「むすび丸通信」では、平成21年4月から5月までの情報として、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会の総会と特別講演会の様子や、社団法人全日本広告連盟「第3回全広連鈴木三郎助大賞」の受賞、各地で開催されたイベントを紹介させていただきます。

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会総会、特別講演会を開催しました

5月12日（火）、ホテルメトロポリタン仙台を会場として、「仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会」の平成21年度総会を開催しました。総会終了後には、東日本旅客鉄道株式会社常務取締役である見並陽一氏を講師として、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会会員及び観光関係者を対象に特別講演会を行いました。

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会総会

総会には、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会会員ら約150人が出席。今年度の事業計画や収支予算について協議を行い、その内容を決定いたしました。今後、この事業計画により、今年10月から12月に開催する「仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーン」に向けて、広報宣伝物の作成や各種イベントなどの事業を展開していきます。また、魅力ある観光素材の発掘や情報の発信を行うとともに、地元の受け入れ意識の更なる向上など、おもてなしの充実を図り、受入態勢の整備を進めていくこととしています。



村井会長（宮城県知事）
あいさつ



梅原会長職務代行副会長
（仙台市長）あいさつ



事務局からの説明



協議状況

特別講演会

講師として東日本旅客鉄道株式会社常務取締役の見並陽一氏をお招きし、講演会を開催しました。演題は「仙台・宮城の次なる観光戦略 ～Urban - Rural～」。

とても示唆に富んだ内容で、この仙台・宮城の地域が、DCを契機として新たなステージに向けて取り組んでいくにあたり、大変参考となるご講演でした。



講演会場



講師：東日本旅客鉄道株式会社
常務取締役 見並 陽一氏



講演の様子

講演 よい

- ◆ 仙台・宮城DCでは、「地域主体、地域おこしのきっかけ」という理念が具現化された。各エリア（仙台・松島、県北、県南、三陸）の個々の光・魅力が結集し、融合して、大きな力が発揮された。
- ◆ Urban（都市、都会）とRural（郊外、田舎）の融合が、仙台・宮城DCで萌芽した。
「泊」「食」「湯」の機能分離により、多種多様な受入体制を構築することで、多様な観光客（外国人、個人旅行、家族旅行、団体旅行・・・）の受け入れが可能となる。
例）Urban→宿泊、夕食、博物館 等 / Rural→温泉、昼食 等
仙台市内ビジネスホテルに宿泊、仙台市外で食事（ご当地グルメ）をして、温泉で日帰り入浴をして、仙台市に戻って夕食を食べる。
- ◆ 国際的に通用する観光地となるためには、常に新しい魅力が発掘されていて、観光客が再び訪れたときに、新しい発見をしていただけることが重要。そのためには、観光地として、継続・発展させていくための仕組みが必要であり、今後の「仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会」の官民一体となった取り組みに期待する。
- ◆ 地域ブランドを一層磨き上げるためには、豊かな地域性と品質へのこだわりが重要となる。

【豊かな地域性の確立と、品質の向上に向けた7つのポイント】

- ① ここにしかないもの
- ② 地域の価値を際立たせるもの
- ③ 地域も観光客も未来志向になれるもの
- ④ 日常的に地域の方々が消費するもの
- ⑤ 観光客から、安全・安心や地域の顔、地元の努力が見えるよう、分かるように
- ⑥ 地域の方々に、地域の特性を与えているという自覚が生まれるもの
- ⑦ その地域の風土文化と一体となっていること

第3回全広連鈴木三郎助大賞を受賞しました！

平成20年10月から12月までの3ヶ月間開催しました「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」が大きな評価を受け、仙台・宮城デスティネーションキャンペーン推進協議会が社団法人全日本広告連盟「第3回全広連鈴木三郎助大賞」を受賞しました。

受賞式は5月13日（水）に長野市で行われ、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会会長の村井知事とむすび丸が式典に参加し、表彰を受けてきました。

●受賞作品 「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」

●受賞理由

官民一体となって誘客に向け「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」を展開。「宮城」「仙台」の魅力を紹介する大規模宣伝を繰り広げた。3ヶ月という短期間にも関わらず、観光客や宿泊客数は増加、さらには、従来の誘客キャンペーンの性格を全く違うものに作り上げたケースとして他地域から視察と問い合わせが殺到するなど、県内外に大きな反響を呼んだ。

●（社）全日本広告連盟

昭和28年設立。全国37地域所在の広告協会を会員とし、広告主、媒体社、広告会社、広告専門会社で構成する総合広告団体。仙台広告協会の事務局は、河北新報社。

●鈴木三郎助大賞

前全広連理事長の鈴木三郎助氏の長きにわたる功績を讃え、同氏の寄付金をもとに設けられた顕彰制度。全国の優れた広告活動やキャンペーンなどを顕彰し、広告のより一層の発展を図ることを目的としたもの。



贈賞式



贈賞式（受賞あいさつ）



会場内展示ブース

各地で様々なイベントが目白押し！

ゴールデンウィーク期間も含めて、4～5月には各地で様々なイベントが開催され、多くの観光客が訪れました。そのうち、4つのイベントを紹介させていただきます。

4/25 (土)～5/6 (水) 米山チューリップまつり (登米市)

道の駅米山の西隣の圃場を会場に、「米山チューリップまつり」が開催されました。100aの圃場には約77,000株、50種もの可愛いチューリップの花が咲きそろい、家族連れや通りかかったドライバーなどの目を楽しませていました。また、リニューアル開店した道の駅米山のイベントも行われ、多くの人で賑わいました。



色とりどりに咲き乱れるチューリップ

4/29 (水)～5/6 (水) 菜の花まつり (角田市)

ゴールデンウィーク期間中の阿武隈川河川敷では、「菜の花まつり」が開催されました。ゆったりと流れる阿武隈川と春雪を戴いた蔵王連峰を背に、春の息吹を伝える菜の花の黄色いシュートン。3.2ヘクタールの畑に咲き誇る約250万本の菜の花は正に圧巻！会場では、地元の特産品を集めた物産市も開かれました。



見渡す限りに広がる菜の花

宮城の観光PRのため、むすび丸は出陣します！

協議会会員の皆さん、イベント時には、むすび丸を呼んでくださいね！

【むすび丸着ぐるみ貸し出し中!】

協議会会員がイベント等で利用する場合に、むすび丸の着ぐるみを貸し出しています。詳しくは、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会事務局までお問い合わせください。



引き続き イベント紹介

5/16 (土) 5/17(日) 仙台・青葉まつり (仙台市)

「仙台・青葉まつり」が5月16日、17日に開催され、多くの観光客が訪れました。
「仙台・青葉まつり」といえば、石工たちの即興踊りが起源とされるすずめ踊り。16日の「宵まつり」では、夕方から定禅寺通で約3000人が乱舞する「すずめ宵流し」が行われ、まつりを大いに盛り上げました。勾当台公園と市民広場では、寄席や青空将棋などを楽しめる「伊達縁」や、県内産の食材を堪能できる「杜の市」も開かれました。



すずめ宵流し



伊達縁



杜の市

5/17(日) しろうおまつり (南三陸町)

歌津地区の伊里前商店街を会場に「しろうおまつり」が開催されました。
しろうおまつりは、今が旬のしろうおを味わってもらおうと、観光協会や商店会などが実行委員会をつくって、今回、初めて開催したものです。
この日はあいにくの雨でしたが、「しろうおすくい」や「しろうおのおどり食い体験」、女性の手の美しさを写真で競う「しろうおのような手コンテスト」など、珍しいイベントが行われ、大勢のお客様で賑わいました。



しろうおすくい



しろうおのような手
コンテスト



しろうお弁当、しろうお
のお吸い物などを販売

観光に関するトピックスや
各地のイベント情報などを どんどんと
お寄せください。待ってま〜す。



発行 : 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会事務局
((社)宮城県観光連盟内)

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1
TEL : 022-211-2895 FAX : 022-211-2829
URL : <http://www.sendaimiyagidc.jp/>
E-Mail : kankouc@pref.miyagi.jp